

武雄市新球場メインスタンド等建設工事基本設計【概要版】

新球場の設計コンセプト

『みんなで育て、親しみが持て、誰もが誇れる場所』

- 利用しやすく親しみがもてる球場
 - ・スポーツ・学び・交流・遊び等、様々な空間を創出し、魅力のある整備に努めます。
 - ・公園などを整備し、市民が気楽に利用でき、特徴と魅力ある空間づくりを行います。
- 本市初の本格的な球場へ
 - ・「硬式野球公認野球場」の規格を満たした球場の整備を行います。
- すべての人にやさしい球場
 - ・すべての利用者が安心して快適に利用できるユニバーサルデザインに配慮します。
- 運営・維持管理に配慮した球場
 - ・市民の利用と協力を得られる運営・維持管理が可能な施設づくりに努めます。
 - ・将来利用者のニーズに対応できるフレキシビリティな施設計画に努めます。

野球場の基本機能

【施設概要】

- ・グラウンド 両翼98m、センター122m
- ・メインスタンド席423席（一部屋根付き）
- ・ベンチ・福祉席・家族席
- ・内野盛土スタンド 外野芝生スタンド
- ・ブルペン（一部屋根付き）
- ・ジョギング・ウォーキングコース
- ・駐車場（普通車124台程度、大型バス5台程度）

- ・サブグラウンド
- ・バックスクリーン
- ・スコアボード
- ・ナイター設備

【基本機能】

- ・夏の暑さ対策として、メインスタンド屋根と選手ベンチにミストシャワーを設置します。
- ・メインスタンドの諸室部分は大会時と通常時の利用用途に応じて柔軟に使えるよう整備します。
- ・福祉席・家族席は、ファウルボールなどを気にせずに観戦できるよう、防球フェンスで囲みます。
- ・内野盛土スタンドは、平坦部分を設け、日よけパラソルの設置やシートに座って観戦ができる、多目的利用が可能なものとします。
- ・外野芝生スタンドは緩やかな盛土とし、訪れた人が気軽に観戦できる空間とします。
- ・ブルペンは雨天時でも利用できるよう、投手側・捕手側に屋根を設置します。
- ・球場と公園の周回路を利用したジョギング・ウォーキングコースを整備し、運動量が見える表示をするなどの工夫をします。

【敷地整備の考え】

- ・競技をしない人にも利用してもらえるよう、これまでの野球場の概念にとらわれず、アミューズメント性を持つ多目的に楽しめる場所として「公園」のようにみんなが楽しめる場所を整備します。

【イメージ写真】



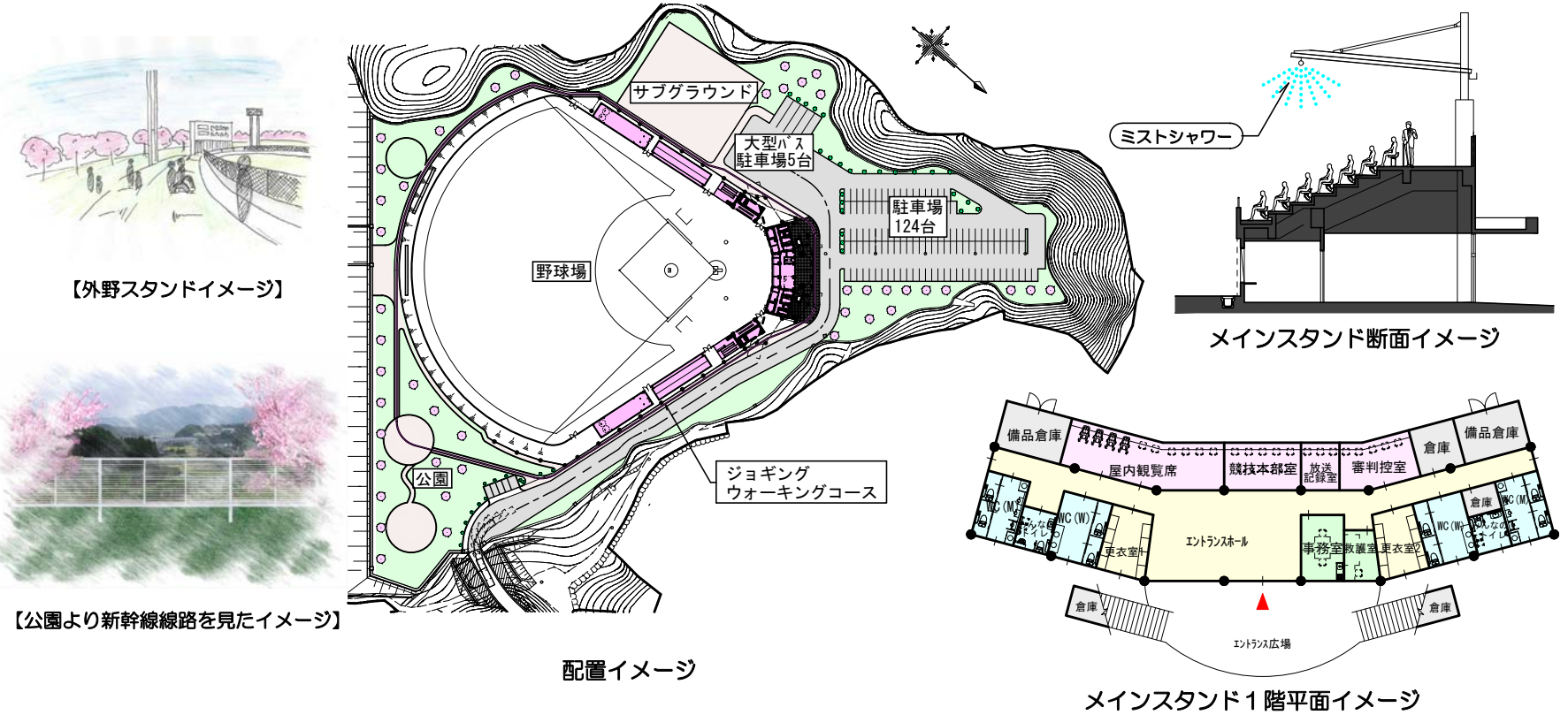
【公園とつながる野球場】

【ジョギング・ウォーキングができる野球場・公園】



【イベント等ができる公園】

施設計画イメージ図



野球場のイメージパース

※ 本図は参考イメージです。今後の実施設計において詳細な検討をすすめてまいります。